

平成31年3月1日

教員の公募について

国立大学法人 三重大学
大学院生物資源学研究科長
[公印省略]

本研究科において、下記要領で教員を公募いたします。

1. 職名・募集人員

准教授・1名

2. 勤務形態

常勤（任期なし）

3. 所属

生物圏生命科学専攻・海洋生命分子化学講座・水産物品質学教育研究分野

4. 講座および教育研究分野の教育と研究内容

生物圏生命科学専攻海洋生命分子化学講座では、多様な海洋生物の生命機能の基礎的性質を化学的に解明するとともに、魚介類、藻類および海洋微生物などの海洋の生物資源の有効利用を目指し、それらが有する成分の分離・分析を行って生物情報を集積しています。さらにそれらを素材とし、生化学的手法や遺伝子工学的手法によって機能性を有する食資源や化粧品などの創出を行うとともに、そのために必要な分析技術、生化学および分子生物学に関する教育研究を行っています。

本講座の水産物品質学教育研究分野では、水産食品として重要な魚介類の品質保持・向上を目指し、生体内の鮮度保持に関連する酵素、血液成分、糖タンパク質やオリゴ糖などの生化学的特性や機能・構造の究明と、水産物の食品衛生・安全に関する教育研究を行っています。また、水産食品の高付加価値化に資する産業上有用な酵素タンパク質や未利用水産資源に特有の難消化性多糖類などを対象とし、微生物などを利用した発酵工学的手法による水産食品の品質向上や機能性付加、さらに関連する生物遺伝資源の探索および機能解析などに関する教育研究を行っています。

今回募集する水産物品質学教育研究分野では、上記の教育研究活動に必須な基礎学問領域に加え、代謝化学・工学やバイオインフォマティクスなどの新しい学問分野を取り入れ、タンパク質や糖質（多糖やオリゴ糖）などを含む未利用水産資源の有効利用・機能性付加および生体内での代謝メカニズムについての教育研究を強化・推進していく予定です。

5. 担当予定授業科目

（学部）食品代謝化学，生物圏生命化学概論，マリンフードプロセス実習，海洋生命分子化学実習，卒業研究など

（大学院博士前期課程）水産物品質学特論，水産物品質学演習，海洋生命分子化学特別研究ⅠおよびⅡなど

（大学院博士後期課程）機能性糖鎖工学，特別演習，特別実験，特別調査研究など

6. 応募資格・条件

- (1) 博士の学位を有し、学部および博士前期・後期課程の学生の指導に熱意を持って取り組めること。なお、大学において教員として学生指導の経験を有していることが望ましい。
 - (2) 水産食品の安全・衛生管理や品質保持・改善など水産物品質学の基礎的分野を踏まえて、酵素化学、代謝化学・工学、糖質化学、発酵工学、バイオインフォマティクスなどの応用分野での優れた研究業績と研究能力を有していること。特に、微生物や酵素などを利用した水産物の品質改善・機能性付加や未利用水産資源からの有用物質生産、水棲生物の共生細菌や環境微生物の代謝化学的解析に関する研究実績を有していることが望ましい。
 - (3) 学部・研究科および当該教育研究分野の管理・運営に協調性をもって積極的に取り組めること。また、当該教育研究分野の教育研究について、講座教員と連携・協力して取り組めること。
 - (4) 地域圏大学としての三重大学の目標を理解し、地域創生につながる地元企業などとの産学連携（共同・受託研究）や高大連携活動に積極的に取り組む意志があること。
- *男女共同参画の観点から女性研究者の積極的な応募を望みます。

7. 応募書類（各1部を提出）

- (1) 履歴書（写真貼付；高等学校卒業以降の学歴，職歴，学位取得年月日と論文題目，所属学会，その他学会賞などの受賞歴，資格など）
- (2) 業績目録
 - ・ 原著論文，国際学会プロシーディング，著書，総説・解説，特許出願，その他に区分し，発表時期の新しいものから順に並べ番号を付すこと。
 - ・ 原著論文，国際学会プロシーディングについては査読制度の有無を記載し，応募者が筆頭著者または責任著者である場合は業績番号に*印を付すこと。
 - ・ 原著論文については，自らの貢献度や実際に担当した部分について説明する文章（各200字程度）を添えること。
- (3) 上記業績目録にかかる現物もしくは別刷（コピー可）（代表的なもの10編）
- (4) 研究費獲得実績，プロジェクト参加実績一覧（それぞれについて代表・分担の別を明記のこと）
- (5) 教育に関する実績一覧
- (6) 学会での活動，地域における取組など，社会連携に関する実績一覧
- (7) 大学などでの管理運営に関する実績一覧
- (8) これまでの研究活動に関する概要（A4判，1,000字程度）。業績目録（2）の原著論文を挙げ，その整理番号を引用すること。
- (9) 着任後の教育・研究活動に関する抱負（A4判，1,000字程度）。特に学生に対する水産物品質学に関連する専門教育や研究指導の取り組みについて説明してください。
- (10) 応募者の連絡先（住所，電話番号，電子メールアドレス）
- (11) 応募者についての照会先（2名：氏名，所属，役職，電話番号，電子メールアドレスなど）

8. 応募期間

平成31年3月1日（金）～平成31年4月1日（月）（必着）

9. 選考方法

書類審査を主としますが，選考の過程で面接を行う場合があります。
面接の場合の旅費は，自己負担となります。

10. 着任時期

2019年6月1日以降のできるだけ早い時期

11. 応募書類提出先

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

三重大学大学院生物資源学研究科 生物圏生命科学専攻

専攻長 教授 奥村 克純

(持参または郵送。郵送の場合は簡易書留で「生物圏生命科学専攻教員公募書類在中」と朱書きのこと)

12. 問い合わせ先

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

三重大学大学院生物資源学研究科 生物圏生命科学専攻 海洋生命分子化学講座

講座主任 教授 柿沼 誠

TEL : 059-232-1211 (三重大学代表)

E-mail : kakinuma@bio.mie-u.ac.jp

13. 参考

海洋生命分子化学講座教員一覧 (平成31年3月1日現在)

教育研究分野	教授	准教授	助教
海洋生物化学	柿沼 誠		
水圏生物利用学	田丸 浩		
水圏材料分子化学		伊藤 智広	
生物物性学	岡垣 壮	大井 淳史	
生体高分子化学	加納 哲*	船原 大輔	
海洋微生物学	福崎 智司	田中 礼士	
水産物品質学	青木 恭彦**	(本公募)	岡崎 文美
海洋食糧化学		柴田 敏行	

*三重大学理事, **大学院は地域イノベーション学研究科, 学部は生物資源学部に所属

生物資源学研究科のホームページ

<http://www.bio.mie-u.ac.jp/>

生物圏生命科学専攻のホームページ

<http://www.bio.mie-u.ac.jp/academics/master-15/dep03/index.html>

以上